

(評価)  
A ……目標値の100%以上の達成率  
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率  
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率  
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率  
E ……目標値の30%未満の達成率

第七次千葉県障害者計画 数値目標 達成状況管理表

資料1-2

数値目標 番号	主要施策	基本施策	担当課	項目	単位	元年度 (実績)	3年度 (目標)	3年度 (実績)	4年度 (目標)	4年度 (実績)	5年度 (目標)	5年度 (実績)	評価	成果の状況等 (3年度・コメント)	成果の状況等 (4年度・コメント)	成果の状況等 (5年度・コメント)
3-1	3障害のある人 への理解を広げ 権利を擁護する 取組の推進	(1)障害のある人への 理解の促進	障害者福祉推進課	共生社会という考え方を 知っている県民の割合	%	38	—	42.2	—	38.2	50	37.6	C	緩やかに増加しており、 今後も共生社会について 周知していく。	認知度が低下していること から、引き続き周知啓発活 動を行うとともに、今後は 周知啓発資料の改善など を行い、向上を図る。	認知度が引き続き低下し ていることから、周知啓 発活動に努め、「知らない」と 回答した層の割合の低下 につなげていく。
3-2			障害者福祉推進課	障害のある人もない人も 共に暮らしやすい千葉県 づくり条例に関する周知・ 啓発活動の回数	回	1,490	1,490	1,985	1,490	3,977	1,490	3,452	A	目標を大きく上回る実績 となった。今後も障害者条 例等の認知率向上のため、 周知・啓発活動に努める。	啓発方法を工夫したことな どにより目標を大きく上回 る実績となった。今後も障 害者条例等の認知率向上 のため、周知・啓発活動に 努める。	啓発方法を工夫したことな どにより目標を大きく上回 る実績となった。今後も障 害者条例等の認知率向上 のため、周知・啓発活動に 努める。
3-3		(2)子どもたちへの 福祉教育の推進	健康福祉指導課	福祉教育推進員養成研修 の修了者数	人	38	40	50	40	51	40	48	A	修了者数が増加し、目標 を達成できた。	修了者数が増加し、目標 を達成できた。	令和5年度の数値目標を 達成した。
3-4		(3)地域における権利 擁護体制の構築	障害福祉事業課	虐待防止アドバイザー 派遣数	回	16	17	7	17	12	17	11	C	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため、施設へ のアドバイザーの派遣が 困難となったため、目標 を下回った。今後、オン ラインの活用など、派遣 方法の見直しを行い、増 加を目指す。	目標値を下回ったが、昨 年度と比べ増加している ので引き続き周知してい く。	アドバイザー派遣を希 望する団体が想定より少 なく、目標を下回った。関 係団体への周知方法を見 直し、積極的な活用を 働きかけたい。
3-5			障害者福祉推進課	職員対応要領を策定し た市町村数	市町村	46	49	48	52	48	54	48	B	目標を下回る実績とな った。今後も未策定の市 町村に働きかけを行って いく。	差別相談の少ない地域 では必要性が低く捉えら れており、目標を下回る 実績となった。今後も未 策定の市町村に働きかけ を行っていく。	差別相談の少ない地域 では必要性が低く捉えら れており、目標を下回る 実績となった。今後も未 策定の市町村に働きかけ を行っていく。
3-6		(4)地域における相談 支援体制の充実	障害者福祉推進課	障害者差別解消支援地 域協議会を設置した市 町村数※共同設置を含む	市町村	40	45	47	50	50	54	50	B	目標を上回る実績とな った。今後も未設置の市 町村に働きかけを行って いく。	未設置の市町村に働き かけを行ったことで、目 標を達成した。今後も 働きかけを行っている。	目標は達成しなかった が、未設置の市町村へ 働きかけを行ったこと により、残りの4市町 村においても設置予定 となっている。
3-7		(5)手話通訳等の人材 育成、手話等の普及 促進	障害者福祉推進課	手話通訳者・要約筆 記者実養成講習修了見 込者数	人	45	56	43	56	42	56	38	C	手話通訳養成最終課 程で受講者、修了率共 に伸び悩んだことから R3年度実績は目標値 を下回った。	手話通訳養成最終課 程で受講者、修了率共 に伸び悩んだことから R4年度実績は目標値 を下回った。	手話通訳養成最終課 程で受講者、修了率共 に伸び悩んだことから R5年度実績は目標値 を下回った。
3-8			障害者福祉推進課	盲ろう者向け通訳・ 介助員実養成講習修 了見込者数	人	18	18	4	18	14	18	15	B	R3年度実績は新型 コロナウイルス感染症 の影響により受講者 が伸び悩み目標値に 達しなかった。今後 も引き続き事業の周 知に取り組む。	R4年度実績は新型 コロナウイルス感染症 の影響により受講者 が伸び悩み目標値に 達しなかった。今後 も引き続き事業の周 知に取り組む。	R5年度実績は県内 市町村への周知に力 を入れた結果、申込 人数を増やすことが できたが、目標値に 達しなかった。今後 も引き続き事業の周 知に取り組む。
3-9			障害者福祉推進課	手話通訳者・要約筆 記者派遣実利用見込 件数	件	369	412	219	412	388	412	415	A	R3年度実績は新型 コロナウイルス感染症 の影響により手話通 訳者等の派遣対象と なる講演会等の開催 数が減少したため目 標値に達しなかった。 今後も引き続き事業 の周知に取り組む。	R4年度実績は新型 コロナウイルス感染症 の影響により手話通 訳者等の派遣対象と なる講演会等の開催 数が減少したため目 標値に達しなかった。 今後も引き続き事業 の周知に取り組む。	R5年度実績は手話 通訳等派遣など合理 的配慮の必要性につ いて、理解促進を図 ったことにより、目 標値を上回った。今 後も引き続き事業の 周知等に取り組む。
3-10			障害者福祉推進課	盲ろう者向け通訳・ 介助員派遣実利用見 込件数	件	1,524	1,526	1,658	1,526	1,675	1,526	1,673	A	R3年度実績が目標 値を上回った。今後 も引き続き事業の周 知に取り組む。	R4年度実績が目標 値を上回った。今後 も引き続き事業の周 知に取り組む。	R5年度実績が目標 値を上回った。今後 も引き続き事業の周 知に取り組む。
3-11			障害者福祉推進課	点訳・朗読奉仕員の 養成人数と研修回数									B	(養成人数の評価)	(養成人数の評価)	(養成人数の評価)
			障害者福祉推進課	養成人数	人	41	46	55	46	44	46	41	B	点訳奉仕員36名、 音訳奉仕員19名で 計55名の奉仕員を 養成し、目標を達成 した。	点訳奉仕員24名、 音訳奉仕員20名で 計44名の奉仕員を 養成したが、目標値 を下回った。	点訳奉仕員20名、 音訳奉仕員21名で 計41名の奉仕員を 要請したが、目標値 を下回った。
			障害者福祉推進課	研修回数	回	2	2	2	2	2	2	2	A	点訳、音訳それぞれ 1回の研修を実施し、 目標を達成した。	点訳、音訳それぞれ 1回の研修を実施し、 目標を達成した。	点訳、音訳それぞれ 1回の研修を実施し、 目標を達成した。
3-12			障害者福祉推進課	失語症者向け意思疎 通支援者実養成講習 修了見込者数	人	22	50	19	50	25	50	23	D	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため、研 修の規模を縮小したた め、目標を下回った。	新型コロナウイルス感 染拡大防止のため、定 員30名で募集し、25 名が修了した。	前年度同様の状況で 目標を下回った。ZOOM 対応も入れながら研 修形態に工夫をし、引 き続き周知につとめて いく。